

平成25年度
市民企画事業補助金
成果報告書



八王子市
平成26年7月

目次

1	市民企画事業補助金の概要	1
2	事業成果報告等の経過	2
3	交付事業一覧表	3
4	事業成果報告	
(1)	飼い主のいない猫の新飼い主探し捕獲 避妊・去勢手術の実施協力	4
(2)	八王子市の子供達と外国人との交流を通して、子供達の健全な育成を支援する	6
(3)	安全・安心な住環境整備と介護保険の活かし方講座&相談会	8
(4)	八王子で野菜をつくろう！	10
(5)	生産、加工の容易な地元農産物の普及	12
(6)	リユース食器を使おう会	14
(7)	子供たちのための「百人一首競技かるた」体験出前講座	16
(8)	暮らしの悩みと疑問をスッキリ解決！ ファイナンシャル・プランナーによるセミナー&相談会	18
(9)	MUSIC BASKET～障害者、未就学児可の気楽なコンサート～	20
(10)	視覚障害者支援活動と点字の習得	22
(11)	植物博士とゆく草花散歩会	24
(12)	第二回シニアが元気になるフェスティバル	26
(13)	NPプログラムで自分らしい子育てを探そう	28
(14)	市民の視点で地域包括ケアを知る	30
(15)	高尾山情報サイト「高尾山マガジン」	32
(16)	「大久保長安研究と八王子のまちおこし」	34
(17)	NPO パワーアップ講座	36
(18)	「守っていききたい多摩丘陵の自然」-30年の活動-	38
(19)	発達障がいに対する理解を深める音楽ムーブメント体験会の実施と 「発達に凸凹のある子ども達」の受け入れ	40
(20)	情報弱者のためのスマホ・タブレット学習講座	42
(21)	一筆箋「八王子ものがたり」で八王子の魅力アップ	44
(22)	元気になるシニアの音楽と軽い運動	46
(23)	第5回 八王子陵南公園さくら祭り	48
5	成果報告会アンケート結果	50
6	交付団体連絡先一覧	54

本書では、各団体の事業成果報告及びそれに対する自己評価について、原則として、団体から提出された原稿をそのまま掲載しています。

1 市民企画事業補助金の概要

(1) 市民企画事業補助金とは

市民企画事業補助金は、市内で活動する非営利団体が、地域の課題の解決や、よりよい市民生活の実現のために、自ら企画立案し実施する事業について、市がその経費の一部を補助するものです。この補助金が有効に活用されるよう、補助対象事業は公募とし、厳正な審査を経て決定します。

(2) 補助の内容

補助対象事業は、以下の2部門に分けて募集し、決定します。応募することができるのはA活動支援部門、B事業実施部門、合わせて1団体1事業です。

	A 活動支援部門	B 事業実施部門
内 容	この部門では、既に公益的な活動に取り組んでいるが活動基盤が整っていない団体やこれから公益的な活動に取り組もうとする団体が、自らの活動を広く紹介する事業に要する経費を補助します。ただし、計画段階の事業費が5万円以上のものとします。	この部門では、市民活動団体が自立運営を目標に企画提案する公益的な事業や将来市と協働で実施する事業として企画提案するために試行する事業の実施経費の一部を補助します。ただし、計画段階での事業費が10万円以上のものとします。
補助金額	必要な経費の10分の10 (千円未満切り捨て、上限10万円)	① 必要な経費の2分の1以内 (千円未満切り捨て、上限100万円) ② 2回目以降は対象事業費の1/3以内又は前回交付決定額の80%のいずれか低い額。ただし、事業の性質上審査委員会で特に認めた場合は、①とします。
補助回数	同一団体2回まで	同一の事業に対して3回まで

(3) 補助事業の採択

補助対象事業の審査は、市民企画事業補助金審査委員会により、応募書類に基づく書類審査及び公開プレゼンテーション(事業実施部門についてのみ)を行うほか、継続事業については、前年度事業の進捗状況の内容も参考にした上で審査します。

また、審査委員会での審査に先立ち、応募事業の内容に関連する市の担当部による、面接等での応募書類の確認や事業内容の評価を行います。審査委員会での審査では、その結果やプレゼンテーションでの市民からのコメントも参考にします。

評価・審査項目は下表のとおりです。

区分	A 活動支援部門	B 事業実施部門
担当部による 確認・評価	1. 公益性 2. 期待度	1. 政策合致性 2. 計画性 3. 八王子らしさ
審査委員審査	1. 公益性 2. 期待度 3. 補助金交付の必要性	1. 計画性 2. 社会貢献度 3. ニーズの高さ 4. 創意工夫 5. 補助金交付の必要性

※ 本概要は25年度の概要であり、今後変更される可能性があります。詳細は市のホームページをご覧ください。市民企画事業補助金のホームページアドレス：

<http://www.city.hachioji.tokyo.jp/33852/shiminkatudo/shiminkikaku/index.html>

2 事業成果報告等の経過

(1) 公開プレゼンテーション

- 日 時 平成25年1月27日(日) 13:30~18:00
- 場 所 北野市民センター 8階ホール
- 参加団体 18団体
- 審査の一環として、事業実施部門に応募した全ての団体が、審査委員と一般市民の方々の前で、プレゼンテーションを行いました。



(2) 成果報告会

- 日 時 平成26年6月14日(土) 13:30~18:00
- 場 所 北野市民センター 8階ホール
- 報告団体 22団体
- 平成25年度に補助金を受け、実施された事業について、審査委員と一般市民の方々の前で、成果報告を行いました。



3 交付事業一覧表

(単位 円)

部門	回数	事業名	補助対象事業費	補助金交付額
活動 支 援 部 門	新	飼い主のいない猫の新飼主探し捕獲 避妊・去勢手術の実施協力	136,653	100,000
	新	八王子市の子供達と外国人との交流を通して、子供達の健全な育成を支援する	102,318	100,000
	新	安全・安心な住環境整備と介護保険の活かし方講座&相談会	138,670	100,000
	新	八王子で野菜をつくろう!	47,199	47,000
	新	生産、加工の容易な地元農産物の普及	129,595	100,000
	新	リユース食器を使おう会	151,673	100,000
	新	子供たちのための「百人一首競技かるた」体験出前講座	107,328	100,000
	新	暮らしの悩みと疑問をスッキリ解決!ファイナンシャル・プランナーによるセミナー&相談会	101,987	100,000
	新	MUSIC BASKET~障害者、未就学児可の気楽なコンサート~	235,409	100,000
	新	視覚障害者支援活動と点字の習得	108,285	100,000
	新	植物博士とゆく草花散歩会	158,036	100,000
	②	第二回シニアが元気になるフェスティバル	112,269	100,000
	②	NPプログラムで自分らしい子育てを探そう	100,000	100,000
小計			1,629,422	1,247,000

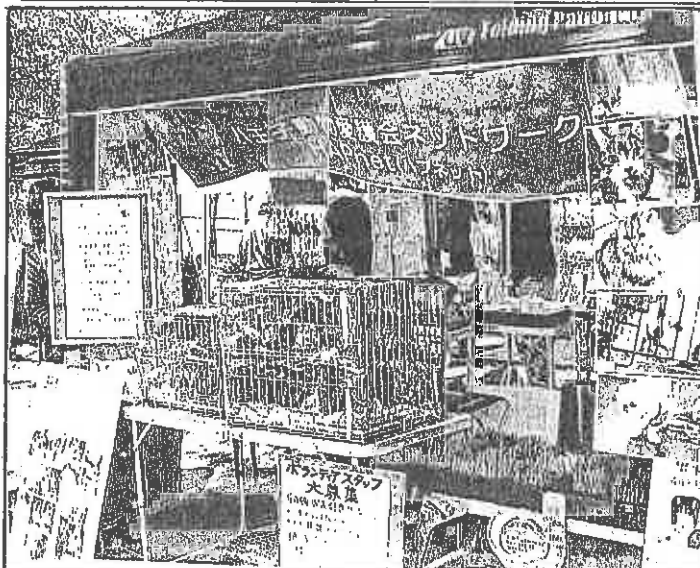
事 業 実 施 部 門	新	市民の視点で地域包括ケアを知る	223,623	100,000	
	新	高尾山情報サイト「高尾山マガジン」	1,303,938	650,000	
	新	「大久保長安研究と八王子のまちおこし」	2,434,783	1,000,000	
	新	NPOパワーアップ講座	2,140,553	1,000,000	
	新	「守っていききたい多摩丘陵の自然」-30年の活動-	880,359	440,000	
	新	発達障がいに対する理解を深める音楽ムーブメント体験会の実施と「発達に凸凹のある子ども達」の受け入れ	3,025,073	900,000	
	新	情報弱者のためのスマホ・タブレット学習講座	1,175,565	587,000	
	新	一筆箋「八王子ものがたり」で八王子の魅力アップ	2,472,283	1,000,000	
	②	元気になるシニアの音楽と軽い運動	536,350	178,000	
	③	第5回 八王子陵南公園さくら祭り	1,113,755	371,000	
	小計			15,306,282	6,226,000
	総計			16,935,704	7,473,000

平成25年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	飼い主のいない猫の新たな採捕獲と避妊手術の実施協力		
団体名	八王子動物愛護会ネットワーク		
事業費	136,653	円	補助金額 100,000 円

事業の目的・内容	目的	動物愛護会の中普及啓発活動、適正飼育に係る相談及び情報提供活動を通じて人と動物達が穏やかに共生する社会の実現を目指す。
	内容	1. 猫の譲渡会実施 2. 猫の捕獲と避妊手術の実施協力 3. 市民から猫に関する相談窓口常時開設

事業の活動実績	<p>1. 市民から犬・猫に関する相談窓口対応件数 901件</p> <p>2. 猫の新たな成約数 65匹</p> <p>3. のり猫の捕獲及び避妊手術件数 67匹</p>
---------	--



事業の成果・効果	<p>1. 市民から犬猫の飼育相談窓口対応件数 901件 犬猫に飼育する市民のさまざまな相談に対し適切なアドバイスが出来たと思う。</p> <p>2. 犬猫の新飼主成約数 65匹 譲渡会場、その他で65匹の野良猫の里親見つけ決定した事は、市民の野良猫による被害(糞尿、発情期のうごめき声、ゴミ荒し等)が確実に軽減されたと思う。</p> <p>3. 犬猫の捕獲及び避妊手術件数 67匹 犬猫を増やさない為には手術を実施が最も有効な手段、団体の活動も市民の皆様に広くPRできました。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた ②概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた ②概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	①ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>現状の活動を今後も維持し展開していきたい。</p>
---------	------------------------------

平成25年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	八王子市の子供達と外国人との交流を通して、子供達の健全な育成を支援する		
団体名	虹の橋		
事業費	102,318円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>小学校に英語教育が導入されたが、まだまだ異文化に触れる機会が少ない。一方市内には9千人もの外国人が生活しており、子供達と外国人が交流する場を設けることで、子供達の視野の拡大と健全な育成を支援したい。</p> <p>本団体は設立間もない団体だがこの活動を通してPRを図る。</p>
	<p>内容</p> <p>八王子市の子供達が外国の人達とゲームやスポーツ、料理、音楽等で交流することにより異文化に触れて、外国の文化に興味や関心を持ち、視野を広げて子供達がより健全な発育が出来るように市内の学童保育所や小学校、児童館等を訪問し「交流会」を開催する(年4回程度)</p>

事業の活動実績	<p>4月 年間計画と予算計画 4/4 北野学童保育所訪問 (由井第1小学校内)</p> <p>外国人(中国1、ネパール1、ベトナム1、米国1)計8人 (No1)</p>
	<p>5月 ポスター制作、市内の学童保育所との交渉</p>
	<p>6月 ポスター・チラシ印刷者と交渉</p>
	<p>7月 23日小宮学童保育所訪問 (小宮小学校内)</p> <p>外国人(中国1、ネパール1、フィリピン1)手品師とスタッフで計9人 (No2)</p>
	<p>8月 「外国人と音楽を楽しもう」イベントNo1の会場予約・広報・タウン紙への掲載原稿作成</p>
	<p>9月 市内学童保育所との交渉</p>
	<p>10月 12日(土)「外国人と音楽を楽しもう」<u>♪イベントNo1</u> 東急スクウェアビル12階5室</p> <p>(ネパール人、インド人、米国人、中国人、バイオリン、ギター、手品の方参加)</p>
	<p>11月 29日(金)千人町(第5小)学童保育所訪問</p> <p>外国人(台湾1、ネパール2、ベトナム1)手品の先生計8人 (No3)</p>
	<p>12月 9日(月)(横山第2小)横山学童保育所</p> <p>外国人(ベトナム1、ネパール1)歌唱指導者計5人 (No4)</p>
	<p>12月 年内の活動のまとめ、学童保育所訪問の反省や資料のまとめ</p>
	<p>1月 活動全体の反省や効果についてのまとめ</p>
	<p>2月 会計のまとめと反省(記録の写真・DVD・お礼状等)</p>
	<p>3月 年間総まとめと新年度への計画作り</p>



事業の成果・効果	<p>訪問できる外国人が「おはよう、ありがとう、ごめんなさい、さようなら」等の日常よく使う言葉をそれぞれの国ではどのように言われているかを教えてもらい、子供達も一緒に発音してみたりして英語ならおはようを「Good morning」と発音して覚えた。またネパールの方では「ナマスティ」でほとんどが通じるとの事がわかった。</p> <p>数字については1から10までの数をどの様に発音するかは、なかなか難しいことが分かった。手品の方々と訪問した時には大変な人気で子供達は終わるのが早すぎるなど、先生方からも又来てほしいと要請され大成功だった。</p> <p>音楽会のイベントでは雨の為に運動会の予定が変更となり参加できない家族や親子も居て、企画する時期を良く考えないといけない事が分かった。でも横田基地内の米国のファミリーが特別参加されギターを弾いて下さり、言葉は解らずとも音楽を通じて楽しい会となった。そして子供が喜ぶ英語の曲「ヘッド、ショルダー、ニーズ and トーズ」の曲に合わせて、大人も子供達も全身を動かし楽しむことが出来て良かった。</p> <p>学童保育所に入所していない子供達が外から見ていたらしく「今日やっていたような事は、どこでやっているのか？」と聞いてきた。</p> <p>小学生なら誰でも参加できる時間と場所についてもこれから考えないと・・・と感じた。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>① ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p>
	その他、評価すべき点等	<p>交流内容に「手品やお手玉など」子供達に興味のあることがらを入れることにより、さらに興味・関心を広げることが出来て良かった。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>学童保育所訪問の他に「お手玉をしよう、手品を見よう」など外国人との交流の中に取り入れていく事も考慮し、多くの子供達と外国の子供とが交流できる場をセッティングしてお互いに交流をしながら、異文化に触れ視野を広げられるよう支援していきたい。</p>
---------	--

平成25年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	安全・安心な住環境整備と介護保険の活かし方講座&相談会		
団体名	特定非営利活動法人 はちふく・ねっと		
事業費	138,670円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的 高齢者や障がい者が最後まで住み慣れた地域の住み慣れた自宅で暮らす為には、その人に最もふさわしい福祉用具や住宅改修が必要です。また、悪徳業者に騙されない為にも最小限の知識は必要となります。当会は全員が福祉住環境コーディネーターの資格を持ち、それぞれが医療、福祉、建築の専門家として仕事をしています。この会としての総合的な知識や経験を広く地域に活かして行くことを使命と感じて、当事業を企画致しました。</p> <p>また、この事業を推進することにより当会のPRをはかり発展に繋がりたいと思っています。</p>
	<p>内容 最後まで自宅で暮らしてゆきたいという、多くの市民の希望を叶える為に当事者及び住環境整備に関わる関係者に対して介護保険制度の活用法や利用者にとって最適の住環境整備の方法、福祉用具の利用法等についてのミニ講座、及び相談会を市内の自治会等で開催します。その際に使用する小冊子及び、活動を広く一般に広報する為のリーフレット等を作成します。</p>

事業の活動実績	<p>・事業開催について毎月1回の検討会、報告会、情報交換を行いました・市民活動支援センター (12回)</p> <p>4月～ 小冊子「転ばぬ先の杖」企画会議を始める 5月～簡易リーフレットの原案作成 (事務所プリンターで作成) 5.28 小冊子原稿入稿 (A5、12P、フルカラー、1000部 (6月3日納品) 6.5 八老会でミニ講座及び相談会プレゼン (10冊)・八老会事務所 6.11 町自会でミニ講座及び相談会プレゼン (33冊)・ボランティアセンター 7月 地域包括支援センター、関連団体に冊子送付 (110冊) 8月 八王子市出前講座用 100冊提供 9.20 ソレイユさがみ (男女共同参画) 八王子市との共同事業プレゼン 12冊 10.17 日野市ふれあい館 (男女共同参画) 八王子市との共同事業プレゼン 10冊 10月 八王子市出前講座用 60冊納品・紅葉台クラブ、学習団体わかば、他 10月 リーフレット原稿、データ作成、発注 (A4、カラー、三ツ折、2000部) 10.30 八老会、地域包括支援センター川口にミニ講座及び相談会プレゼン 20冊 11.6 八老会に冊子、リーフレット各 30冊配布 11.16 いちょう祭り参加、小冊子、リーフレット各 112冊配布 11.16 社会福祉士協議会 (北野市民センター) 45冊配布 11.19 講演「えっ?知らなかった!住宅改修Q&A」開催 (学園都市センター) 介護サービス事業者団体、小冊子、リーフレット 55冊配布 12.17 市民活動支援センター交流会、小冊子、リーフレット 20冊配布 2014.1.16 講演「人生を楽しむバリアフリー改修」ソレイユさがみ・小冊子、リーフレット 27冊配布 1.25 アクティブ市民塾参加、市民活動支援センター、小冊子、リーフレット 40冊配布 3.29 グリーンコープ鹿島自治会、講演及び相談会 小冊子、リーフレット 45冊○当会会員 (21名) に小冊子各 10程度配布、○小冊子「転ばぬ先の杖」1000部、リーフレット 2000部を作成し、年度内に各 900部以上を配布しました</p>
	<p>事業の様子または成果がわかる写真①</p>



事業の様子または成果がわかる写真②



事業の成果・効果	<p>・八老会、町自連、男女共同参画等に対するプレゼンテーション、及び一般市民向けの講座、相談会において、資料として使用した小冊子「転ばぬ先のチエ」は介護保険や住環境の問題が簡易な言葉で書かれていて、一般市民の方にも大変分かり易いという感想が多く寄せられました。</p> <p>・講座及び相談会においては高齢者自身よりも同居（又は近住）の家族の方が熱心に受講しており、介護者や今後介護をする可能性がある方が、住宅改修や福祉用具に対して正しい情報を必要としていることが質問内容やアンケート等により把握できました。</p> <p>・各団体へのプレゼンテーションでは全体で80名余りの参加者があり、各団体主催の講座&相談会の開催について検討をお願いしたが、年間の行事予定が決まっている場合が多く、新たな講座や相談会を取り入れるためには更なる理解が必要と感じました。</p> <p>・一般市民向け講座及&相談会は、出張講座形式では4回実施され参加者は232人になりました。その他、いちよう祭りに参加し小冊子等112冊配布、住環境に関する個人相談も数件ありました。また、八王子市健康福祉課が実施する出張講座においても受講者に小冊子を配布して頂きました。</p> <p>・当事業の開催により当会の認知度が増し、在宅介護をしている方からの電話相談や地域包括支援センターからの住環境整備に対する問合せ等も多くなってきました。また、認知症に対してのアドバイスを求められることも多くなりましたが、住環境整備や福祉用具の利用が難しいケースも多く更なる勉強や情報収集が必要だと感じています。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 新しい印刷発注の仕組みにより、印刷単価が低くなったため仕様の変更及び印刷部数を増加しました。各種講座及び、いちよう祭りへの参加等のためスタッフ謝礼が増えました。
	その他、評価すべき点等	高齢化が急速に進む中、在宅介護における住環境知識の重要性を本人及び家族の方達に知っていただく機会を持つことが出来ました。助成金で作成した小冊子を用いた講座は分かり易いと好評を得ました。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>本年度以降も小冊子は増刷し、今後の活動にも利用したいと考えています。</p> <p>今回の事業を展開した事により、介護保険の知識や住環境整備の必要性を伝えるターゲットが高齢者本人よりも家族の方や周囲の方ではないかと感じました。今後は現役世代や定年退職を迎えた60代の方達向けにも積極的に講座や相談会を開催し、介護予防としての住環境整備についてお伝えしたいと思えます。また、それらの知識を草の根的に広げる仕組みを作りたいと考えています。</p>
---------	--

平成 25 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	八王子で野菜をつくろう！		
団体名	八菜会		
事業費	47,199円	補助金額	47,000円

事業の目的・内容	<p>目的 近年、地域の畑で野菜の栽培に挑戦する人が増えているが、様々な難問やトラブルに見舞われ、見た目ほど簡単ではない。にも関わらず、本人の技術・知識・経験不足や周囲の助言も断片的である事などから挫折してしまう人も見掛けられる。この事業の目的は「地域で野菜の栽培を志す人々を支援し、菜園家の挑戦継続に寄与する」当団体の存在を知って貰って、当団体の活動をPRすることである。</p>
	<p>内容 『野菜の栽培に関する情報の流通・共有』が基本的な考え方で、以下が具体策。 「習う栽培」⇒「学ぶ栽培」がモットー。 －地域の菜園家紹介紙の発行 －栽培記録作成の啓発・促進・代行 －栽培計画作成サービスの提供 －野菜の栽培に関するセミナーの開催 －野菜栽培に関するSNSの紹介・普及 －菜園確保への支援</p>

事業の活動実績	<p>【講演会開催】①日時：平成25年9月5日（木）26人参加。理論編：『有機栽培、実践の現場』澤登恵泉女学園大学教授、実践編：『菜園家アンケートより』佐久間八菜会代表 ②日時：平成25年12月16日（月）於：同上会議室、24人参加 理論編：『有機栽培の畑づくりと栽培技術』澤登大学教授、実践編：『リタイアマンの菜園奮闘記』佐久間八菜会代表、特別解説編：『ダンボール・コンポスト活用のポイント』八王子市資源循環部ごみ減量対策課</p> <p>【菜園情報紙発行】予告号：平成25年9月5日発行、同日配布・・・今後の発行案内 第1号：平成26年1月発行、3月8日配布・・・問題提起の広報がテーマ 第2号：平成26年2月発行、3月8日配布・・・菜園初心者の奮闘状況の広報がテーマ 第3号：平成26年3月発行、3月8日配布・・・事前学習の必要性の提言がテーマ</p> <p>【展示会出展】平成26年3月8日（土）八王子市が毎年主催している『お父さんお帰りなさいパーティー』に出展し、上記の活動内容を披露した。リタイア後、地域に帰還する多くの人達が参加するこのパーティーで事前学習の必要性を提言した。</p> <p>【ホームページ】当初の予定ではホームページを開設することを計画していましたが、事業の方向性は決まっているものの、細かな活動計画が定まらないため、当面の開設は見送った。</p>
---------	--



事業の成果・効果	<p>【講演会開催】、【菜園情報紙発行】【展示会出展】に関して この事業の目的である当「八菜会」の存在を知って頂き、当会の活動を広く紹介するという点からしますと、まず当会の名前を知って覚えて頂いた方が格段に増えました。先方から当会の名前を呼んで頂けるシーンも少なくありません。</p> <p>又『お父さんお帰りなさいパーティー』では当会のメインターゲットの方々から直接話をお伺いできたことは何にも増して貴重なものでした。ゲストの中の野菜づくりに対する関心度の高さを改めて痛感することができました。これも大変大きな収穫であり、当会の問題意識に対する活動の原動力になるものと感じることができました。</p> <p>【補助金交付審査委員会から頂いたご意見に関して】 「講座の講師や扱う野菜の選定について八王子を意識したものとするなど、八王子という地域性を盛り込んだ内容での事業展開を要望します」と頂きました。</p> <p>従いましてこの点を留意し、主として講演会において下記の点に配慮致しました。</p> <p>① 講演会の内容を第一部は理論編、第二部は実践編の二部構成とし第二部では市内の市民農園での野菜づくり状況からテーマを取り上げ市内における栽培状況を披露しました。</p> <p>② 野菜づくりに欠かせない知識として「堆肥や肥料」に関するものがありますが、八王子市資源循環部ゴミ減量対策課が進めていますダンボール・コンポストはこのテーマを理解するのに最適ですので、同課のご担当の方にお越し頂き実物展示の上、ご紹介頂きました。知識習得と同時に八王子市の取り組み姿勢も理解してもらえたものと思います。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた <input checked="" type="radio"/> 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ) ・事業の立ち上がりに手間取り、4月～7月の活動を一部見送りました。 ・ホームページ開設の予定でしたが、コンテンツ確定に至らず見送りました。
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた <input checked="" type="radio"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった <input checked="" type="radio"/> 3 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) ・4月から7月に予定していた事業を見送った分の事業費の減 ・ホームページ開設を見送った分の事業費の減 ・西武信金様のご好意で講演会会場が無償で拝借できたので会場費の減
	その他、評価すべき点等	この活動は八王子市が主催する「はちおうじ志民塾」での受講知識を元に造り上げたものですので、まだ検討余地を沢山残す内容と自覚していますが、思い切って一步を踏み出して良かったと思っています。人脈の拡大、地域活動のポイント、問題意識の発展…等、得るところ大でした。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>「リタイアーなどが野菜づくりに挑戦するときのハードルを少しでもさげて『定年菜園』という単語がセカンドライフの選択肢として定着するようになってほしい」という問題意識は一向に変わっていません。今後もこの問題意識を忘れずに活動していく所存です。但し、現時点では具体的な活動内容が明確になっているとは言えないので、一旦、市民企画補助金事業の枠外で活動していく所存です。</p> <p>『お父さんお帰りなさいパーティー』は当会のメインターゲットですので今後も大事に考えていきたいと思っております。</p>
---------	--

平成 25 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	生産、加工の容易な地元農産物の普及		
団体名	特定非営利活動法人すまいるカフェ		
事業費	129,595円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的 かつて多摩は東京の食材を担う地域として長く貢献して来たが、近年の農家の後継者不在や高齢化によって、敷地内の果樹や野菜でさえ手づかずのまま放置されており、自然環境、防犯上にも悪影響を及ぼしている。また最近急増したプチ農家や小規模農家は販売ルートが無くせつかくの収穫物の大半が人の口に入ることなく朽ち果てているのが現状である。近郊の住民は農家とのネットワークがないため、近隣の畑で収穫されるものもスーパーで購入している。こうした現状の農家と一般市民との媒体となりくらしの相談に対応しながら、忘れられていた人・モノ・心をつなぐコミュニティの再生・活性化で6次産業化・地産地消・経済の活性化・環境保全を目指すことを目的とする。</p>
	<p>内容 ◇地元農産物を使った料理教室の開催 ◇生産、加工の容易な農産物の普及の為の講習会</p>

事業の活動実績	<p>ホームページの開設 パンフレット作成 6/20 梅干し・梅ジャム作り講習会：湯浅宅 5名 7/4 ルバーブジャム作り講習会：湯浅宅 3名 7/31 " (干し方) 湯浅宅 5名 8/10 柚子こしょうの作り方料理教室：湯浅宅 5名 8/21 トマトソースの作り方料理教室：湯浅宅 5名 9/9 簡単酢の物料理教室：NPO 法人らいふねっと MOE 10名 10/28 段ボールを使って身近な食材で燻製をつくる料理講習会：湯浅宅 10名 11/11 聖護院大根を使った料理教室：NPO 法人らいふねっと MOE 10名 11/20 サツマイモの3種料理講習会 (だんごもち)：湯浅宅 15名</p>
---------	---



10/28 身近な食材で燻製を作る料理教室
 意外と簡単に段ボールの燻製器完成！
 チーズ・かまぼこ・魚の干物などの燻製を作って食べました。



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・HP立ち上げ・パンフレットの作成で外へ向けて大きく宣伝ができるようになった事で、社会的存在感が確実なものになり、会員増強の役に立った。 ・手入れされてない梅林から頂いた完熟梅を使って梅干しを作る料理講習会では、あちこちに見受けられる放置された梅林の梅から店頭と並んでいる物に引けを取らない梅干しや梅ジャムなどが完成し、この地域に住む私たちの自然環境に改めて感謝！感謝！ ・身近な食材で燻製をつくる講習会では、手作り段ボール製の燻製セットでどんな食材でもできる事、味のバリエーションが広がることなどが分かり、身近な食材に対する新たな発見が出来た。 ・多摩ニュータウン鹿島のNPO法人らいふねっとMOEでの料理教室では、会員の畑で採れたばかりの野菜を使って、酢の物や煮物などを作って試食したが、高層住宅の林立する暮らしの中でご近所同士普段あまり会話することも少ない中、ありきたりのメニューではあるが、生産者と消費者が一緒になって、高齢の住民と和やかなひと時を持てたことは大変良かった。高齢者の多い地域の中で、食を囲んで新たなコミュニティが生まれたことを、更に音楽なども取り入れて大きく輪を広げていきたい。 <p>また、このことをとおして、地域・ジャンルの異なるNPOが手をつなぐ事で、単独組織では考えられないまったく新しい活動を生み出す可能性を引き出すことが出来た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サツマイモの団子もちはむかしこの地方でよく作られたおやつだと聞き、再現してみた。 <p>若い参加者もこの地方以外の出身者もサツマイモの意外な食べ方を新たに発見、昔の人の食への知恵・こだわりを脱帽、これからも地元独自の食べ方を掘り起こして、広く頒布していきたい。</p> <p>全回通して会場・講師・食材を自前で用意したため経費を抑えることができた。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 <input checked="" type="radio"/> 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 <input checked="" type="radio"/> 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 <input checked="" type="radio"/> 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 講習会・料理教室の会場・講師・材料などほとんどを自前で開催出来たので、費用が安くできた。 ホームページ費用も知人に安くして頂いた。
	その他、評価すべき点等	補助金を頂いたことで、事業計画に対して確実に取り組むことが出来た

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>生産者と消費者とのコミュニティをより多く作るために、放置された果実樹林などから収穫されたものを使って加工する。</p> <p>地域に伝承される食べ方と身近な食材の新しい調理方法を模索しながら、生産者主催の料理講習会を開催する。</p> <p>らいふねっとMOEとの連携をさらに深め、食と音楽、でコミュニティステーションづくりをすすめていきたい。</p>
---------	---

平成25年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	リユース食器を使おう会		
団体名	リユース食器ひなげし		
事業費	151,673円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的 大量消費、大量廃棄の生活スタイルを見直し、リユース食器（洗って何度でも使える）を使うことにより、ゴミを出さない、燃やさないイベントをサポートし、CO2を削減し、循環型社会の実現を目指します。
	内容 地域の各種イベントや大学の学園祭、町内会の祭り等へ出向き、リユース食器を実際に使って体験してもらう。ポスター、食器の展示、チラシ配布などをし、リユースの仕組みを知ってもらう。（借りる・使う・返す）

事業の活動実績	4月27・28日	フラワーフェスティバル由木 リユースカップ280個 デポジット付きでジュース販売 ポスター、食器展示、チラシ配布
	6月1日	環境フェスティバル リユースカップ60個 デポジット付きでジュース販売 ポスター、食器展示、チラシ配布
	7月13・14日	八王子市民活動フェスティバル2013 ポスター、食器展示、チラシ配布 交流会 リユースカップ100個提供
	9月29日	スポーツ祭東京2013 八王子市民球場（高校野球） 八王子市提供ドリンクにリユースカップ1,500個
	10月4日	スポーツ祭東京2013 東京工科大学（体操競技） 八王子市提供ドリンクにリユースカップ500個
	10月17日	「障害者雇用について」の講習会を行った。（講師 アトラス堀米様）
	11月16・17日	いちょう祭り（わくわく広場） リユースカップ70個 デポジット付きでジュース販売 ポスター、食器展示、チラシ配布



フラワーフェスティバル由木 (4/27.28)

14 環境フェスティバル (6/1)

様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>認知度の低いリユース食器を使用してもらうことにより、見たり聞いたりしただけではわからない食器の丈夫さ、耐熱温度などを感じてもらい、良さが分かってもらえました。デポジットにより食器の回収率が上がり、(98.5%) 借りる→使う→必ず返す、ルールを理解してもらえました。</p> <p>スポーツ祭東京 2013 では、リユースカップを使ったときと、紙コップを使った時のごみの量の違いが解ることが出来ました。</p> <p>環境フェスティバルでは、環境問題に関心のある方から色々質問等を受け、賛同を受けること事が出来ました。</p> <p>八王子市民活動支援センター広報紙「SUPPORT802」の 56号に私達の活動が掲載され、広く知ってもらえる事ができました。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<input checked="" type="radio"/> ① できた ② 概ねできた ③ あまりできなかった ④ ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<input checked="" type="radio"/> ① できた ② 概ねできた ③ あまりできなかった ④ ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	① ほとんど同じ ② 多少の変更があった <input checked="" type="radio"/> ③ 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) イベント参加に予定よりもお金がかかってしまった。
	その他、評価すべき点等	スポーツ祭東京 2013 に参加したことが私達の自信につながり、広く知ってもらうことが出来ました。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

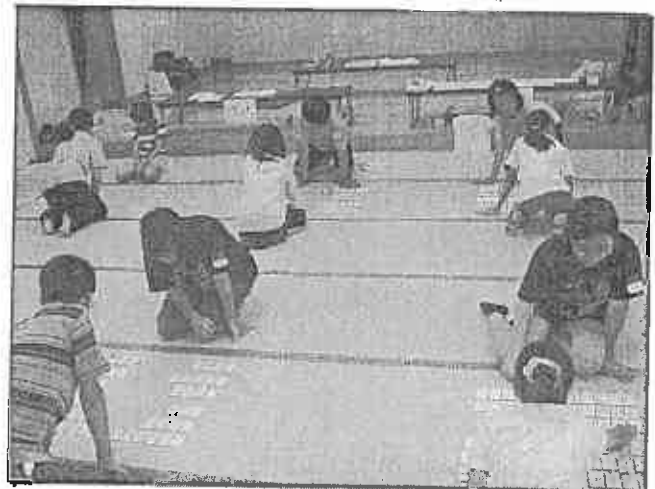
今後の事業展開	<p>リユース食器の啓発活動を行いながら一般社団法人にし、リユース食器レンタル事業を行う。将来的には、障害者支援をする予定です。</p>
---------	--

平成25年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	子供のための「百人一首競技かるた」体験出前講座		
団体名	八王子九重かるた愛好会		
事業費	¥107,328	円	補助金額 ¥100,000 円

事業の目的・内容	目的	小倉百人一首を通じて日本文化の伝統普及発展に寄与することを目的とする
	内容	各小学校中学校に希望に応じてサタースクールで出前講座 各児童館が希望を得て出前講座を実施する

事業の活動実績	松木小学校 サタースクール出前講座実施 7回 約15名参加
	中郷児童館実施 11回 約30名参加 浅川小学校 3回 約30名参加



事業の成果・効果	<p>1. 小学校5年で60首しか覚えていた子供の非常に関心を持ち、カルメ部で作詞、更に日野百人一首クイズにも参加して、滋賀県の近江神宮で準優勝を勝得た</p> <p>2. 或る子供は親まで巻を込めて親に興味を持って、会に入会しました。</p> <p>3. 男の子(小学5年)100首を1分間以内に礼送りが出来るようになり、百人一首を得意とするようになった。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>① ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p>
	その他、評価すべき点等	<p>学校側の協力がある(磯川小学校) カルメ部が出来た支援のおかげがあった。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>会町市民センターを拠点として、尚親にもう一度興味を持って頂いて子供に、そのきっかけを作って貰うように運んでいきたい。</p>
---------	---

平成25年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	暮らしの悩みと疑問をスッキリ解決！ ファイナンシャル・プランナーによるセミナー&相談会		
団体名	FPネットはちおうじ		
事業費	101,987円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的 いかなる経済環境下であっても、個人家計には常に自己責任が求められる。その自己責任をファイナンシャルプランニングの専門知識と技能でサポートしたいと考えている。市民（消費者）との接点から当団体の活動を市内全域に広く知っていただきたいため、本事業を企画した。
	内容 八王子市内の市民（消費者）を対象に『暮らしとお金のセミナー&相談会』として、それぞれの回にメインのテーマを設け、テーマに沿ったセミナー各回60分×3本と個別相談（要予約）で構成するイベントを3回行った。

事業の活動実績	<p>■ 第1回 2013年7月6日 生涯学習センター南大沢分館で開催 『子育て家計のためのセミナー&相談会』 セミナー60分を3本（子育て家計のライフプラン、住宅資金について、教育資金について） 個別相談4組に回答、来場者総数16名（うち有料参加者6名）</p>
	<p>■ 第2回 2013年9月8日 生涯学習センター川口分館で開催 『シニア家計のためのセミナー&相談会』 セミナー60分を3本（相続と成年後見制度、年金について、セカンドライフについて） 個別相談3組に回答、来場者総数18名（うち有料参加者7名）</p>
	<p>■ 第3回 2014年1月18日 クリエイトホール第6、第7学習室で開催 『資産運用の基本』 セミナー60分を3本（証券口座とNISA、資産運用の鉄則、火災保険の利用法） 個別相談3組に回答、来場者総数20名（うち有料参加者12名）</p>
	<p>■ 採択にあたり審査委員会としての意見「公益的な市民活動として採択するものであり、会員の営利活動ととられることがないように徹底すること。」に関しては、会員の活動はファイナンシャル・プランナー（以下FP）の技能と知識を活かした市民活動としての有償ボランティアと限定し、来場者や個別相談依頼者の個人情報事務局で厳しく管理を行った。個別相談回答は時間内でその場限りとした。</p>

事業の様子または成果がわかる写真①



事業の様子または成果がわかる写真②



事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全3回の『セミナー&相談会』を通じて、FPとして家計設計に必要な知識を伝え、個別相談には家計の悩み、将来のお金の悩みに対して的確な回答を行うことができた。 ■ 来場者は当初予定よりも少なかったものの、アンケート結果は「密度の濃い内容で理解が深まった。」「今さら人に聞けなかったことが今日は聞いてスッキリした。」など、大変好評であった。 ■ 個別相談では住宅ローン返済の悩み（二世帯住宅の同居解消、休職による返済困難、借換え）、保険の見直し、年金と老後資金についてなどFPでなければ的確に回答できない内容が目立った。来場者にとって有意義なイベントであったとともに、明日からの生活設計を改善する一助になったものと考えている。 ■ 事業の実施にあたり『広報はちおうじ』に記事掲載をしたり、チラシ等を市の施設に配架するなど、団体の活動を広くPRすることができた。少しずつであっても団体の認知度は高まっていると考える。
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p>
	その他、評価すべき点等	<p>回を重ねるごとに来場者が増え、イベントとして受け入れられていることを実感する。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> ■ 平成26年度市民企画事業補助金交付事業A部門に応募中。26年度も『FPによる暮らしとお金のセミナー&相談会』を継続して行う予定である。 ■ 八王子市内の消費者団体として、消費生活センターと協働しつつ金融教育の担い手の役割を果たしていきたいと考えている。
---------	---

平成25年度市民企画事業補助金交付事業成果報告書

事業名	MUSIC BASKET~障害者、未就学児可の気楽なコンサート~		
団体名	MUSIC BASKET		
事業費	235,409円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>障害をお持ちの方、未就学児など、普段なかなかコンサートに行く事ができない方々に気楽に音楽を楽しんでいただける演奏会の開催。</p> <p>また、上記のご家族、保護者の方が、自身も音楽を楽しみ、ご家族と一緒に音楽に触れることのできる機会を提供すること。</p>
	<p>内容</p> <p>クラシックの定番曲から、ジャズ、お子様も楽しめるアニメソングなど、幅広い楽曲の使用。また、会場のお客様と一緒に歌ったり、体を動かしたりと、音楽を聴くことのみでなく、参加する事によって楽しんでいただけるようなプログラムを設ける。</p>

事業の活動実績	4月	出演者人選、選曲、プログラム構成
	5月	チラシ作成、印刷、配布(市役所、市民センター、保育園、幼稚園、児童館、施設、ホール、図書館、体育館)
	5月2日	ミーティング(プログラム・曲目調整)
	6月8日	ミーティング
	7月1日	八王子市市民活動支援センター 広報紙 (support802) 掲載
	7月15日	八王子市生涯学習センター 催物予定表掲載
	8月3日	クリエイトホール・ホール打ち合わせ(客席・ステージ形態、照明等)
	8月6日	ミーティング(音響機材、照明配色、プログラムデザイン)
	8月14日	朝日新聞記事掲載
	8月21日	プログラム印刷、全体リハーサル
	8月23日	全体リハーサル
	8月24日	MUSIC BASKET~障害児・未就学児可の気楽なコンサート~ 時間:14時開演(13:30開場) 場所:クリエイトホール(定員数220) 料金:500円 プログラム: J.エルガー/愛の挨拶 F.ショパン/幻想即興曲 C.ドビュッシー/月の光 P.デズモンド/ Take Five B.ハワード/Fly Me to the Moon E.サイ/トルコ行進曲(ジャズ版) ジブリメドレー ディズニーメドレー 参加型:La Banba どんぐりころころ 世界に一つだけの花 など
	8月28日	反省会
	写真①	参加型の様子
写真②	出演者全員演奏 (We are the world)	



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>・来場者数 271名</p> <p>〔お客様アンケートからのお声〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供と一緒に音楽を聴く事ができて嬉しい。ぜひ継続してほしい。 ・年に一度ではなく、数回演奏会を開催してほしい。 ・参加型や、みんなで歌を歌ったことが印象に残った。 ・どのプログラムも楽しむ事ができ、来て良かった。 <p>〔成果〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回、市民企画事業補助金をいただくことができ、施設等への優先的なチラシ配布、朝日新聞への記事掲載など広報活動の充実により、予想以上のお客様に会場へ足を運んでいただけた事が一番の成果と感じている。そして、設立間もない当団体及び活動を、広くPRすることにもつながった。 <p>〔効果〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加型で体を動かす事、歌う事による心身の活性化や、みんなで音楽を演奏することにより、一体感を得ることができる。 ・障害をお持ちの方や、未就学児、そのご家族など、普段演奏会になかなか行くことができない方々にとって、他者や家族とともに音楽を楽しむこと、喜びや、やすらぎなど、心地よい感情の共有による充実感を感じることができる。
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	① ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している -----
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>アンケートにてぜひ継続して演奏会を開催してほしいというお声が多数寄せられ、この演奏会に求められる要望を認識し、再検討する結果となった。客席数がお客様の人数に対して十分でなかったなど、今回の反省点を踏まえた上で、来年は内容、音楽ともにさらに質の高い演奏会の開催を計画している。また、MUSIC BASKETという団体として、少人数での施設訪問も検討している。</p>
---------	---

平成25年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	視覚障害者支援と点字の習得		
団体名	竹の子の会		
事業費	108,285円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的
	内容

視覚障害者へのボランティアをしたいが、窓口がわからない。点字を学びたいが、ハードルが高そう、仕事をしているので、平日の講習は受講できない。方々のため、初心者でも入門編として学べ、講習日を土曜日に設定することで、仕事を持っていても、受講しやすい環境を作る。ボランティア活動を通じて視覚障害者への理解を深め社会貢献を目指す。

点字の全くの初心者の入門の講座を月1回開講する。平日仕事をしていても受講しやすいよう講習日を土曜とする。視覚障害者への理解を深めるため、ボランティアの活動をする。

事業の活動実績	●点字講習会 市民活動支援センターにて 講師 廣渡俊明氏
	第1回 平成25年4月13日 15:00-17:00
	第2回 平成25年5月11日 15:00-17:00
	第3回 平成25年6月8日 15:00-17:00
	第4回 平成25年7月6日 15:00-17:00
	第5回 平成25年8月10日 13:00-17:00
	第6回 平成25年9月7日 15:00-17:00
	第7回 平成25年10月5日 13:00-17:00
	第8回 平成25年11月9日 15:00-17:00
	第9回 平成25年12月14日 13:00-17:00
	第10回 平成26年1月18日 13:00-17:00
	第11回 平成26年2月 雪のため休講
第12回 平成26年3月8日 13:00-17:00	
●ボランティア活動	
H25.4.28 NPO 法人八王子視覚障害者協会総会 八王子心身障害者センター	
H25.6.30 スマートホン講習会 クリエイトホール	
H25.7.13 八王子盲学校夏祭り 八王子盲学校	
H25.7.28 NPO 八王子視覚障害者協会主催健康促進体操教室 クリエイトホール	
H25.8.18 第2回 NPO 八王子視覚障害者協会主催健康促進体操教室 クリエイトホール	
H25.8.30 NPO 八王子視覚障害者協会新事務所お披露目会 八視協事務所	
H25.9.8 東京都盲人福祉協議会助成事業メタボリックシンドローム講演会 クリエイトホール	
H25.10.20 第3回 NPO 八王子視覚障害者協会主催健康促進体操教室 クリエイトホール	
H25.11.9 視覚障害者のための八王子駅付近歩行調査 八王子駅周辺	
H25.12.7 視覚障害あいの会とNPO 八王子視覚障害者協会の交流会 八視協事務所	



事業の成果・効果	<p>市の助成金を得て、チラシなどが作成でき、又、点字の講師を頼めたため、会員が2.5倍に増えた。会員増加に伴い、視覚障害の方へのボランティア活動も継続的に行えるようになった。</p> <p>点字講座も土曜に設定したので、仕事をしている人も参加できている。又、この会の講座から、点字に興味を持った人が、ステップアップした別の講座を受講するなど、成果があがっている。</p> <p>又、ボランティア活動においても、八王子視覚障害者協会に活動を知ってもらえて、本年度は8回ほど、ボランティアを依頼された。来年度も既に依頼が入っている。八王子心身障害者センターへの送迎も12回頼まれた。</p> <p>視覚障害者のための八王子駅付近の交通調査をし、視覚障害者への理解を深めた。</p> <p>この会の活動を通じて、より視覚障害者への支援を深めようと、「同行援護従業者養成研修」を自費で受講し、資格を取得した会員も5名おり、社会貢献の場が広がっている。ボランティアや講習について会員同士の情報交換もさかんになってきている。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<input checked="" type="checkbox"/> 1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<input checked="" type="checkbox"/> 1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ <input checked="" type="checkbox"/> 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 会員が版下を作成し、印刷も安いところを利用したため、変更となった。 会場費は無料の支援センターを利用したため変更となった。 交通費はボランティアの件数と会員の増加のため変更となった。
	その他、評価すべき点等	ボランティアと点字の学習を両方する事によって、視覚障害の方への理解がより深まり、積極的に支援することができた。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	助成金を得て、会員も増え、ボランティアの足がかりができたので、今後は更に会員を増やし、会で行事を企画するなど、より積極的に視覚障害者対象のボランティア活動に取り組んでいきたい。点字も習得に向けて、継続して講座を開きステップアップを計っていく。誰でも気軽に入会でき、社会貢献できる会を目指していく。
---------	--

平成25年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	植物博士とゆく草花散歩会		
団体名	草花散歩会		
事業費	158,036円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>1, 身近な自然にふれ、生活周囲の生物の生態を知ること、人と自然の共存や環境について考えることのできる人材育成を目指す。</p> <p>2, 八王子の学校や町内会などとも協力し、地域の子ども達に知的好奇心をもって体を動かし、楽しく自然に学ぶことのできる機会を提供する。</p> <p>3, 知的好奇心の喜びと自然に遊ぶ楽しさを、大人にも子どもにも感じてもらう。</p> <p>4, 共に散歩し、学び、語り合うことで、人と人とのコミュニケーションを豊かにする。</p> <p>5, 八王子市民や市外の人に、八王子市にある自然の良さ、楽しさを再発見してもらう。</p> <p>6, 「草花散歩会」の活動を八王子を起点に発展させ、広く宣伝したい。</p>
	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然豊かな里山環境にある八王子セミナーハウスの施設を活用し、セミナーハウス敷地内や近隣の長沼公園をめぐる植物観察のフィールドワーク講座を開催。 ・講座には植物博士の保谷彰彦氏(学術博士、国立科学博物館勤務、科学ライター)を講師として迎え、事前講座をもうけ視聴覚機材を利用して観察のポイントを学習する。散歩は二時間ほどのたっぷりした時間を取り、自然の中を歩く楽しさを感じながら、草花と生き物の総合的な生態環境について観察する。 ・フィールドワークの事後にも座学をもうけ、観察の成果を発表し、語り合い、採取した草花を顕微鏡観察するなど、成果を定着させる時間をつくる。 ・「遊び、発見し、学び、考え、体で感じる」ことをテーマとした講座である。

事業の活動実績	<p>【植物博士とゆく草花散歩会(1)】</p> <p>日時：2013年9月8日(日) 会場：八王子セミナーハウス、長沼公園 講師：保谷彰彦 演題：「植物博士とゆく草花散歩と座学カフェ・2013夏」 参加人数：大人10名</p> <p>概要：事前座学後、草花の詩歌や民俗学の話の朗読を行った。長沼公園を散歩にし、ヤマホトトギスやキツネノマゴなど秋の花を観察し、スケッチを描いた。ナンバングセルやギンリョウソウなど珍しい植物を皆で探す遊びも行った。採集した草花を実体顕微鏡で観察し、観察結果を話し合った。</p>
	<p>【植物博士とゆく草花散歩会(2)】</p> <p>日時：2014年3月23日(日) 会場：八王子セミナーハウス、長沼公園 講師：保谷彰彦 演題：「植物博士とゆく草花散歩と座学カフェ・2014春」 参加人数：大人8名、子ども1名、幼児1名</p> <p>概要：事前座学後、タンポポの紙芝居を演じた。長沼公園を散歩し、カントウタンポポやオオイヌノフグリなど春の花を観察し、スケッチを描いた。ヤセウツボやカンアオイなどの植物を皆で探す遊びも行った。採集した草花を実体顕微鏡で観察し、観察結果を話し合った。</p>
	<p>【草花散歩会活動紹介パンフレット制作】</p> <p>期間：2013年9月～2014年3月 部数：3,000部 企画/デザイン/執筆/写真撮影：草花散歩会</p> <p>「草花散歩会」の活動内容を植物解説を交えて楽しく紹介する冊子を作成。八王子市や都内各地に配布した。会の活動を広く宣伝するためのツールとして今後長く使用してゆく予定。</p>



事業の成果・効果	<p>1, 広報誌へのイベント情報の掲載や、八王子市内の各施設へのポスターとチラシの配布という協力を得たことで、これまで開催したイベントよりも市民の参加を多く得られた。特に、親子での参加応募も多く見られた点が成果だった。</p> <p>2, 「ふだんよく歩いている長沼公園の植物について知りたい」という市民の参加者が多く、八王子市の自然環境(多摩丘陵)の魅力を市民に改めて伝える機会となった。また、都内の遠方地域からの参加者も多かったため、八王子市の自然を外部地域の方にも伝える機会となった。</p> <p>3, 実体顕微鏡を6台導入し、観察散歩で採取した草花をじっくりと観察した。ミクロの世界を拡大するという器具を用いての観察は日常的に行えるものではないため、参加者からは歓声と驚きの声があがり、非常に満足度の高い学習効果を得られた。</p> <p>4, 参加は幼年から受け入れ、親子参加の場合、4歳以下の幼児については費用を徴収せず、また、幼児が疲れたときの為の休憩室を設ける等の工夫をし、親子で気軽に参加できる環境をととのえた。</p> <p>5, 参加者同士の対話の時間を多くもうけることで、コミュニケーションの機会が減少しつつある現代において、他者と対話し、さまざまな考えを共有する時間を提供することができた。公園の散策時には、たくさんの笑い声や笑顔、会話が生まれていた。</p> <p>6, 春期のイベントで演じた「たんぽぽ紙芝居」や、「まぼろしの花を探す」といった遊び要素のある取り組みは大人も子どもも両方が楽しめ、盛り上がり、イベントを活気ある明るいものにすることができた。</p> <p>7, 草花散歩会の活動を宣伝する広報パンフレットを作成したことで、より広い範囲へ、手軽に会の活動を宣伝することができるようになった。パンフレットは今後、出版社や、企業、各地方の自治体などへも配布し、さまざまな提携を得て会の活動内容を拡大してゆくためのツールとしたい。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた <input checked="" type="checkbox"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ <input checked="" type="checkbox"/> 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p> <p>1, 当初、助成金用途として電子実体顕微鏡の購入を予定していたが、置き型実体顕微鏡の譲渡を受けたため、顕微鏡観察の目的は果たせると判断し、顕微鏡購入に予定していた資金で広報パンフレットの制作を行いと考え、変更申請書を提出。許諾を得てパンフレットを制作した。</p> <p>2, 申請時はイベント参加費を大人 1500 円として申請したが、元々大人の参加費は 2,500 円にて運営しており、事業の赤字を防ぐため、変更理由を説明の上、変更申請書を提出。許諾を得て参加費を変更した。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>助成金による電子実体顕微鏡の導入はなかったものの、置き型実体顕微鏡6台の導入を得て、参加者の学習深度と満足度が飛躍的に向上した。参加者アンケートによる満足度が非常に高く、充実した会となった。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>助成金を得て作成した事業広報のパンフレットを十分に活用し、本会の活動を広く宣伝してゆく。具体的には、次のような活動を行う。(1) 八王子セミナーハウスと長沼公園での草花散歩会イベントを継続して行う。(2) 2014 年度に都内のギャラリーでタンポポをテーマとした展覧会の開催。(3) 植物の進化論や自然科学をテーマとした読書会イベントの開催。(4) 草花散歩会の活動を書籍にして出版するため、出版社と提携して企画を進める。(5) 小学校等への出張授業を行う。</p> <p>また、将来的な目標として、東北地方や隠岐島で在来タンポポの調査を行いと思っており、八王子市との交流事業として進められないか、検討課題としたい。事業の進行に合わせて再度の助成金申請も検討したい。</p>
---------	--

平成25年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	第二回シニアが元気になるフェスティバル		
団体名	八王子高齢者活動コーディネーター会		
事業費	112,269円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>弊会の目的シニアを活性化する活動が、広くシニア層はもちろん、広い世代に活動を知ってもらい、会の知名度向上と会員増そして事業の拡大を計ることを目的として25年度も続けてこの事業を開催する。</p>
	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員長の趣旨等の説明 ・来賓の祝辞として8名の来賓を代表して「村松副市長」にご挨拶をいただきました。 ・記念講演「大空メイ氏の講演『笑うシニアに福が来る』」 ・市内シニアの元気団体の紹介・展示等を行った。

事業の活動実績	<p>25年3月「採択」通知をいただいてから、「第二回シニアが元気になるフェスティバル」の準備に入りました。</p> <p>4月の弊会の総会で、昨年同様、実行委員会設立が決まり、本格活動に入った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以下、実行委員会は、月一回開催。全体の方針と進行の確認を行った。ここはそれぞれの担当が計画し実施していった。 ・特別講演の講師は、「シニア活性化の講演」、「実績がある」、「笑いを含む楽しい、フェスティバルにふさわしい講師」を選した。「大空メイ氏」(本名奥田久美子氏)に決定。 ・昨年度実施の評価を行い、昨年は実施した「スタンプラリー」は見送った。 ・集客のために、「朝日新聞多摩マリオン欄」、ミニコミ紙「ショッパー紙」への掲載を依頼した。 ・活動団体紹介に「論語を楽しく学ぶ会」、「お父さんお帰りなさいパーティ実行委員会」、「八王子センター元気」、「八王子消費生活センター」と「八コー会演劇教室」、「シニアが教える小中学生の教育教室」を新たに加えた。 ・12月1日は、「第二回シニアが元気になるフェスティバル」で、村松副市長のご祝辞等から、講演・団体や事例紹介という内容で、85名参加と盛況であった。 ・その後、アンケート等からの会への入会などの事後効果を生んでいる。
---------	--



事業の成果・効果	<p>事業は、「シニアの活性化」を進めている団体として、広く市民に対する知名度向上と、会の実施内容を知ってもらうことを目的として、フェスティバルを行ったのであるが、先ずは、事前のフェスティバル紹介のPRが有効であり、地域のミニコミ紙「ショッパー」にイベント紹介のことを掲載してもらえたのをはじめ、朝日新聞の多摩マリオン欄の「イベント紹介」に掲載してもらえ、その成果により、85名の集客ができた。当日の内容は、村松副市長のご祝辞でも、「シニアの活性化」の意義について、ご紹介され、弊会の意義を強調していただき、印象を持っていただくことができた。その後の「笑うシニアに福が来る」という記念講演は、シニアの元気さ、活性化の重要性に対して、強調してもらえ、その後の元気なシニア団体の紹介へとつなげていくことができた。当初の目的である、「実施していることの有意義性を知っていただくこと」と「会の知名度を向上させること」の成果は、当日参加者のアンケート結果から、十分に達成できた。これからは、会の活動をより活発にして、市民企画事業補助金の「A」部門（活動支援部門。知名度が低いので向上等が必要なで向上を図る。）の応募から、本年の成果を踏まえて、「B」部門（事業実施部門。事業そのものの実施）へと前進していけるようになったと評価している。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 <input checked="" type="radio"/> できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 <input checked="" type="radio"/> できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 <input checked="" type="radio"/> ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由（2、3と答えた場合のみ）</p>
	その他、評価すべき点等	<p>昨年に加えて、「ハコー会演劇教室」の開設と、「シニアが教える小中学生の教育教室」特に、教室は、シニアが小中学生に「教科」と「人間性」を教えるという意味で、大変重要な活動を始めたと思う。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>シニアは、65歳で会社を辞めても、元気で、経験も知識もある。力のあるシニアを地域のために活かしていくことは、非常に重要である。特に、シニアの生き方も、経済的にも、社会的にも大変変化してきているし、もっと変化していくことになると思う。どのシニア団体も、「知恵を活かして、尊敬される仕事を作ってもらおう」「その仕事はかなりの給与が支給され、年金や医療費の不足をカバーしていく」このようなことを念頭に置いた団体しか残れないと思う。そのことを事例により示していく団体になっていきたい。</p>
---------	---

平成25年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	NPプログラムで自分らしい子育てを探そう		
団体名	若葉		
事業費	100,000円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親支援のNP講座を広く周知し、問題解決能力を身に付け 子育てや生活に活かす力を育てる。 ・家事・仕事と育児の両立に試行錯誤しながら頑張っている親の自信につながる支援をする。 ・講座で出会った仲間と活動を継続し、子育ての負担緩和、孤立防止のために話せる場の提供をする。 ・子育て支援活動をしている当会の認知を高め、会の活性を推進する。
	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カナダ保健省が開発したNPプログラム(完璧な親なんていない)の実施。 ・0歳～5歳までの乳幼児を育てている親を対象にした連続6回講座。 ・完全託児で、自分と子どもを大切にするための貴重な時間の中で学ぶ講座。 ・講座を通して 親同士の交流と仲間作りをし、講座終了後も活動を継続していく。

事業の活動実績	参加者がテーマを決め、それを基に話を展開していく。具体的な話しを共有し考えていく。			
	第1回目	10月24日(木) 10時～12時	クリエイトホール	学習室(11名)
		「知り合おう」「テーマ決め」	クリエイトホール	保育室(8名)
	第2回目	10月31日(木) 10時～12時	クリエイトホール	学習室(10名)
		「子どもの事」「卒乳の時期と方法」	クリエイトホール	保育室(8名)
	第3回目	11月7日(木) 10時～12時	クリエイトホール	学習室(10名)
		「家族の協力について」「夫との関係」	クリエイトホール	保育室(6名)
第4回目	11月14日(木) 10時～12時	クリエイトホール	学習室(8名)	
	「自分のこと」「自分の時間の使い方」	クリエイトホール	保育室(7名)	
第5回目	11月21日(木) 10時～12時	クリエイトホール	学習室(9名)	
	「子どもと自分の感情の変化について」	クリエイトホール	保育室(7名)	
第6回目	11月28日(木) 10時～12時	クリエイトホール	学習室(9名)	
	「子育てで今後活かせること」	クリエイトホール	保育室(7名)	
<p>・八王子市協働推進課のご支援による広報活動：八王子広報、八王子市HP掲載、生涯学習センターポスター掲示、市民センター等ポスター配布、クリエイトホール情報プラザチラシ設置、子育て支援関係へのチラシ配布。タウン誌ショッパー掲載、会員の紹介等。</p>				



事業の成果・効果	<p>【母子分離の講座の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親にとっては「自分の時間」となり、「自分を客観的に見直す」大切な時間となった。 ・子どもにとっては、親以外の大人との関係を持つことで成長がみられ、回を重ねるごとに親との再会を楽しみに待つことができるようになった。 <p>【連続6回の講座を通しての成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者同士の信頼関係が生まれ 何でも話せる仲間となり、共に成長することができるような関係になった。 ・子育て中の生活の中で、他者の考え方や生活スタイルを知ることは貴重な体験であった。 ・自分の子育てや生活習慣を話すことで、参加者仲間にとっての「役に立つ情報」となり、それに気付くことで、自分の自信のない部分が多かった親たちの 自尊心の向上につながった。 ・講座を通して自分の子育てを確認したり、参考意見を取り入れたりする習慣を持てるようになり、その中から「自分らしい子育て」を自分自身で構築していく力を育てることができるようになった。 ・その過程で、自分を好きになり、子どもへの愛情と子育てに対する気持ちに余裕を持つことができようになった。 <p>【参加者のアンケートより】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ年齢の子を持つお母さんだけではなく、下の子、上の子、兄弟がいる方から 多くのお話しが聞けて参考になった。 ・毎回 話すことと聞く事ができた。特に自分のことを話す機会はあまりないので貴重な時間だった。 ・自分の子どもに対して、柔軟な対応ができるようになって、子育てが楽しいと感じるようになり、より楽しい時間になる様に工夫して行こうという気持ちになった。 ・参加者中心の講座を初めて体験し、前向きな気持ちに変わり、子どもとの対応にも変化があった。
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) ・日程の変更 (広報活動の為) (5月・6月) → (10月・11月)
	その他、評価すべき点等	2年連続でのこの事業を通し、当会会員の増員につながったとともに、当会の活動への認知も広くPR することができたと実感している。 【会員数：18名→40名】

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の NP 講座で出会ったメンバーで新グループを結成することが決まった。 ・今後は1ヶ月に一度のペースで、NP 講座で身に付けた子育て技術を活かし、グループでの成長を続けていく。 ・この事業実績を基に、子育て中の親たちとのネットワークを広げ、当会の PR も続け一人でも孤立しない子育てを応援していく。
---------	--